R5 年　4月　さくら組

ドキュメンテーション「おおきなたいこ、ちいさなたいこ」

A ちゃんは保育室に置いてある積み木を両手に持ち、「おおきな太鼓どーんどん！小さなたいことんとんとん♪」と歌いながら積み木を叩き合わせ楽器のように見立てていた。

↓

後日、A ちゃんは違う玩具でも「大きなたいこ、小さなたいこ」のうたを歌いながら、音を出して遊んでいた。

☆考察☆

・大きなたいこ、小さなたいこと身振りが違う姿が見られた。これは言葉を理解して表現しているのだと感じる。また、玩具を太鼓に見立てて遊ぶ姿から A ちゃんは想像力が広がり、想像力を膨らませて遊んでいるのだと思った。
・玩具の遊び方は、私たち大人が教えた遊び方だけではなく、様々な遊び方があるのだとAちゃんの姿から気づかされた。今後も子ども達が想像力を広げていく遊び方に注目していきたい。